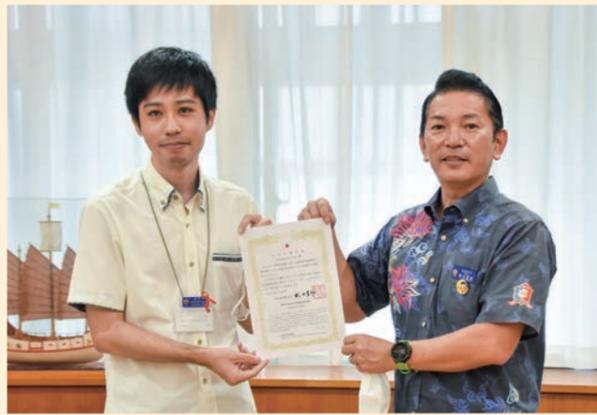


市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



8/5 「出会いにマハロ」シェイ・ヤマグチさん退任

浦添市第14代国際交流員のシェイ・ヤマグチさんが、任期満了に伴い市長に退任の挨拶を行いました。ヤマグチさんは平成30年8月に着任して以来、広報誌での毎月のコラム連載や異文化体験講座、英語で絵本の読み聞かせなど、地域や子どもたちとの交流を通して、出身地であるアメリカ合衆国ハワイの文化を伝え、市の国際交流や多文化共生の推進に尽力しました。

ヤマグチさんは、着任当時のことを「自分のルーツがある沖縄に配属が決まり不思議な縁を感じた」と懐かしみ、「今後も浦添市とハワイの交流に貢献したい」と抱負を述べました。



7/21 優秀な建設工事が表彰されました

昨年度に完成した建設工事で特に優秀な施工をした建設業者を表彰することにより、工事の質向上と適正な施工確保を目的とする優秀建設工事表彰式が行われ、カーミージー地区護岸・園路整備工事(R1)を施工した全沖産業が表彰されました。

沿岸部の厳しい条件の中、品質、出来栄とともに優秀で、近隣の小学校が実施した自然体験学習への協力など、地域貢献活動も評価されました。

佐渡山社長は「ハードルの高い工事だったので表彰されて嬉しい。社員自ら地域へ貢献したことも誇りに思う。今後も安心して工事を任せてもらえるよう努めたい」と話しました。



8/11 オリンピックの感動をありがとう

浦添市出身で東京2020オリンピック男子ハンドボール日本代表の東江雄斗選手と女子ハンドボール日本代表の池原綾香選手がそれぞれ市役所を訪れ、市長に結果を報告しました。

東江選手からは「予選ラウンド中、ポルトガル戦で勝利できたのは大きかった。常に勝ち続けるのは難しいが、数年前と比べると世界と対等に戦えるレベルまで来ている」と競技レベルの成長を感じる声があり、池原選手は「ヨーロッパに拠点を置いて活動しているが、オリンピックは普段とは違う緊張感がある。東京五輪を通じてハンドボールに興味を持っていただき、普及につながっていくと嬉しい」と話しました。



8/12 とどけ!てだこの火

8月24日に開幕する東京2020パラリンピックに向けて、12日に市役所中庭で採火式が無観客の中行われました。

東京パラリンピックの聖火は、全国各地で地域の特性を生かした方法で採火され、浦添市では凸レンズを用いて太陽光から火を採取し、「てだこの火」として届けました。

県内各地の火は那覇市内の集火式に集められ、一つの聖火になる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、採火の写真や映像を使用しバーチャルで集火され、開催都市東京へと送り出されました。

集火式と出立式の様子は、沖縄県ホームページをご覧ください。



7/26 学生の就職機会改善のために要請

コロナ禍の影響により、就職を希望する学生が就業の機会を得づらい状況にあるとして、市経済文化局の嘉味田局長と那覇公安職業安定所の知念所長が、浦添商工会議所の西村会頭へ学卒求人確保と求人票の早期提出を求める要請書を提出しました。

以前から県内企業の求人票提出の遅れが問題視される中、卒業後も就職先が決まらない学生や就職のミスマッチが多いことについて西村会頭は「コロナ禍の影響により企業も厳しい状況ではあるが、前からの課題である人手不足解消のためにも人材確保が重要だ。団体としてこの状況を改善していく必要がある」と話しました。



7/16 やさしい日本語でつながるコミュニケーション

「やさしい日本語で、みんなとやさしいコミュニケーション(全6回)」がオンラインで開講され、日本人と外国人合わせて16人が参加しました。相手に合わせて、わかりやすく伝える言葉「やさしい日本語」について学んだ後、参加者はグループに分かれて「私の好きなこと」をテーマに話し合いました。

参加者からは「やさしい日本語を使ってゆっくり話すと外国人も理解してくれた」、「私の夢についても話してみたい」との声があり、お互いを理解し合うことの大切さとやさしい日本語を使ったコミュニケーションの楽しさを実感していました。



7/15~20 東京五輪に向けて事前合宿

オリンピックに出場するデンマーク男子ハンドボール選手団が事前調整のため本市で合宿を行いました。

歓迎セレモニーでは、市内中学生が作成した応援幕が披露され、選手たちは書かれたメッセージを嬉しそうに見ていました。練習は非公開で行われ、20日に東京へ旅立ちました。デンマークチームは無敗で勝ち進み、決勝戦は大接戦の末、フランスに敗れましたが、見事銀メダルを獲得しました。

事前合宿の担当者は「子どもたちとの交流は中止になり残念だが、トップレベルのチームとのお縁を大切に、ハンドボール競技の発展や向上に寄与出来る嬉しい」と話しました。